

9月6日：警戒感が広がり続落

金曜日は後場にかけて売り圧力が優勢となり、両取引所とも下落した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.28%下落し974.08ポイントで引け、4日間の下落幅は1%を超えた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.05%下落し、100.92ポイントとなった。

金曜日は両取引所あわせて1億8,150万株が売買され、売買代金は5.8兆ドン（約2億4,850万ドル）となった。

大型株で構成されるVN30指数は0.02%下落し885.95ポイントで引け、30銘柄のうち12銘柄が上昇したのに対し、11銘柄が下落した。

市場には警戒感がはびこり、商いは1日を通じて閑散としていた。

保険、不動産、証券、銀行、エネルギー、農業、プラスチック、化学、建設、流通、ヘルスケアなどの低調が目だった。

反対に、小売、卸売、海産物加工、ITなどが市場を下支えした。

SNZ(-2.9%)、SJS(-1.4%)、D2D(-3.4%)、VRG(-7.6%)、RHR(-5.3%)など、工業団地関連の銘柄は利食い売りに押され、大きく下落した。

BIDV証券(BSC)によると、市場は第3四半期の決算を9月の後半から待ち望むだろうが、世界市場でネガティブな情報がくすぶっている間は、突破口は見えないとのことである。

世界経済の成長が減速し、貿易戦争問題もくすぶっており、国際市場のセンチメントへの影響力は大きい。

貿易交渉が進展せずアメリカが増税し、中国が報復するというサイクルが繰り返され、解決の見通しが見えない、と BSC はレポートで書いている。

アメリカは7月に10年ぶりに0.25%利下げしたが、9月1日にアメリカが中国からの3,000億ドルの輸入品に関税を課すことを発表したことで、利下げの効果は急速に薄れた。中国は750億ドルのアメリカ製品に5-10%の増税で報復し、アメリカはさらに3,000億ドルの中国製品に5%の増税で報復した。

BSC は、VN 指数は9月に965-1015ポイントのレンジで推移すると見ている。

BSC は9月に2つのシナリオを描いている。ポジティブなシナリオは、VN 指数は980ポイントを中央値として965ポイントの支持線を上回って推移することである。株価は第3四半期の決算を見越して動き、流動性の増加と良好な成長見通しに支えられる。

ネガティブケースとして、VN 指数は海外情勢の悪化と外国人投資家の売り越しがあれば、950ポイントを下回ることも考えられるということだ。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。